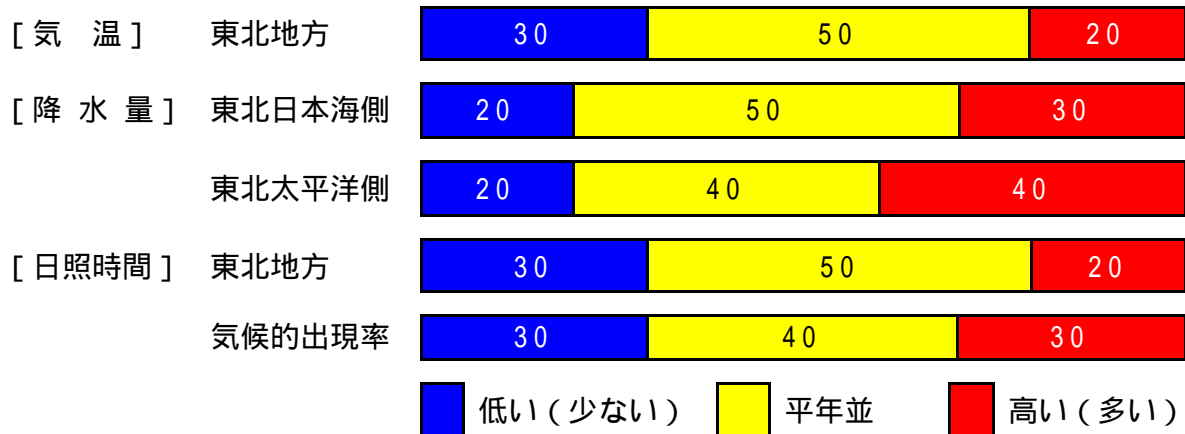


## 東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：4 月 22 日～5 月 21 日）

平成 12 年 4 月 21 日 仙台管区气象台

### 1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



[ 気 温 ]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい可能性は「低い」で、その確率は 30％です。「高い」の確率は 20％と小さい。

[ 降 水 量 ]: 東北日本海側は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい可能性は「多い」で、その確率は 30％です。「少ない」の確率は 20％と小さい。

東北太平洋側は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「少ない」の確率は 20％と小さい。

[ 日照時間 ]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい可能性は「少ない」の可能性が次に大きく、その確率は 30％です。「多い」の確率は 20％と小さい。

### 2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

東北地方は、この期間低気圧と高気圧が交互に通リ、天気は周期的に変化しますが、寒冷低気圧の影響で天気のぐずつく時期がある見込みです。寒暖の変動が大きく、降霜の恐れもあります。

平均気温は平年並でしょう。

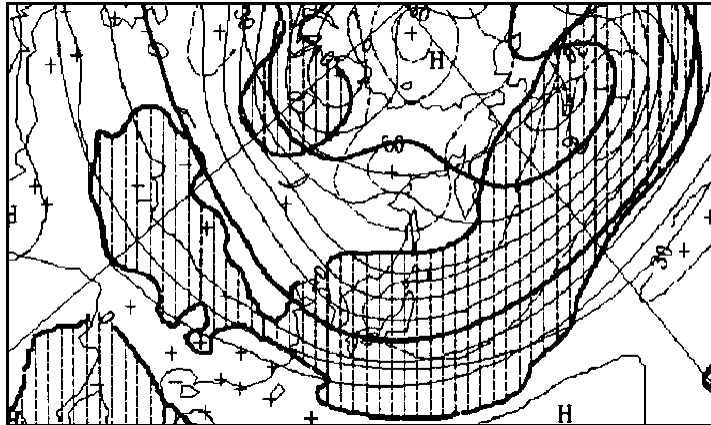
平年の晴れ日数は、東北地方で約 19 日です。

各予報期間の天候の特徴

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1 週目……………<br>(4 月 22 日～4 月 28 日) | 期間の中頃に高気圧に覆われて晴れる日があるほかは、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。<br>平均気温は平年並ですが、期間前半は低い日がある見込みです。<br>平年の晴れ日数は東北地方で約 4 日です。 |
| 2 週目……………<br>(4 月 29 日～5 月 5 日)  | 低気圧と高気圧が交互に通リ、天気は周期的に変化するでしょう。<br>平均気温は平年並の見込みです。<br>平年の晴れ日数は東北地方で約 4 日です。                                |

3～4 週目…………… 低気圧と高気圧が交互に通る、天気は周期的に変化するでしょう。  
 (5 月 6 日～5 月 19 日) 平均気温は平年並の見込みです。  
 平年の晴れ日数は東北地方で約 9 日です。

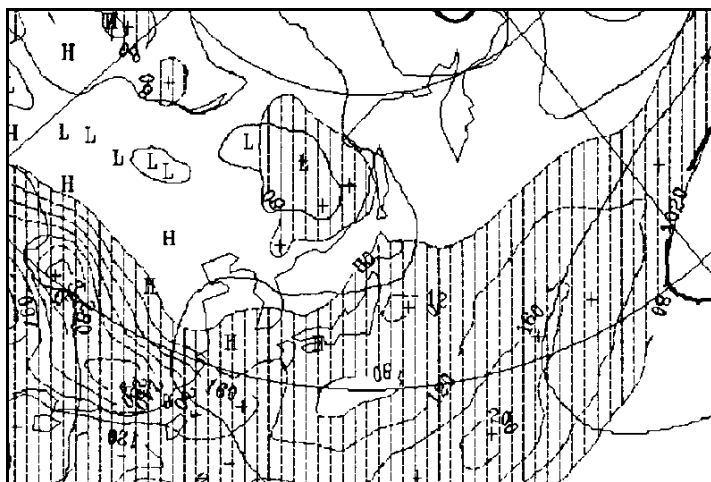
予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



月平均の 500hPa 高度・偏差  
 （等高度線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差）

・ 500hPa 高度・偏差

月平均でみると、日本付近の中・低緯度は日本の東海上に中心をもつ負偏差に広く東西に覆わる。極東域高緯度は、気圧の尾根となっており正偏差。この傾向は、週別（図略）でみると、1 週目に顕著だが、2 週目以降は、その程度は弱まり、日本の北の気圧の尾根も解消にむかう見込み。このため、天気は周期変化が基調。



月平均の地上気圧と降水量  
 （等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上）

・ 地上気圧と降水量

月平均でみると、日本の南に前線帯に対応する降水域がひろがり、日本の北には東西に低圧部が広がる。このため、基本的に天気は周期変化するが、寒冷低気圧の影響で天気のぐずつく時期がある見込みです。

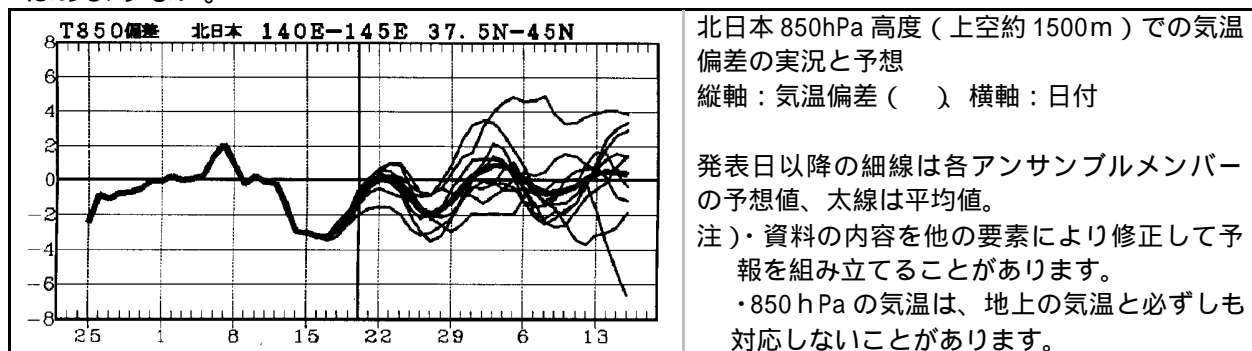
また、日本付近に強い降水域はかからないが、三陸沖にやや強い降水域がある。

週別（図略）では、1 週目に東北太平洋側にやや強い降水域がかかるほかは、東北地方に強い降水域はかからない。

### 3. 北日本 850hPa の気温平年差の実況と各アンサンブルメンバーの予想

北日本 850hPa の気温平年差は、アンサンブルメンバーの平均でみると、予報期間中は平年並みを中心として周期的に寒暖を繰り返す見込み。ただし、2 週目以降メンバー間のばらつきが大きくなる。信頼度は普通程度。

なお最近の実況では、東北地方の地上気温平年差は、北日本 850hPa の気温平年差が負偏差の場合は 2 度程度高めに推移している。ただし正偏差の場合は地上気温と 850hPa の気温の差はあまりない。



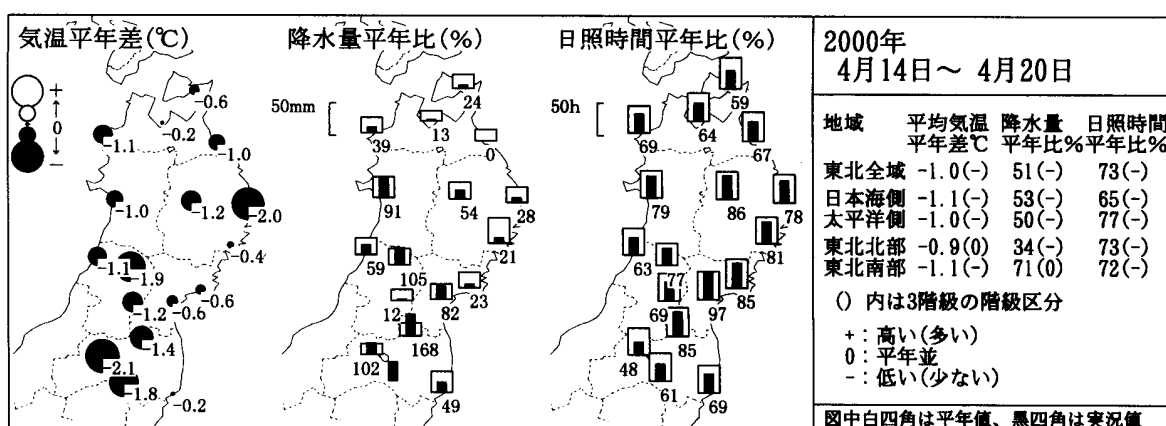
注：1 か月予報では、よく似た初期値から出発した 10 個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンブル予報といい、10 個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

### 4. 最近 1 週間（4 月 14 日～4 月 20 日）の天候の経過

この期間、天気は短い周期的で変化した。低気圧の通過後は寒気が入り、気温の低くなる日が多かった。特に、16 日に低気圧が通過した後は、17 日にかけて強い寒気が入り、東北地方全体で気温が低くなった。

さくら（ソメイヨシノ）の開花は、酒田で 18 日（平年より 1 日遅い）、山形で 19 日（平年より 2 日遅い）、秋田で 20 日（平年より 1 日早い）と平年並だった。

平均気温は、東北地方で平年差 -1.0 と平年より低かった。降水量は、東北地方で平年比 51% と平年より少なかった。日照時間は、東北地方で平年比 73% で平年より少なかった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）